

アリス、とネズミ人間

隠れた場所に醜いアザを持つ少女・里香は、ある日、ねずみ色のフードで顔まで覆った笛吹き男を見かける。笛の音色に引き寄せられるように、彼女の現実には夢の壁から剥がれ落ち、やがて不思議な世界へ迷い込む……。

生きていくことの恐ろしさ喜びに、戸惑い、うつむき、それでも歩き出す、一人の少女の心の旅を、繊細に象徴的に描く、言葉のない詩、映像の寓話。

淡くうつろう自然光、手触りのある美術

監督は『のんきな姉さん』でデビューし、『ラマン』（廣木隆一監督）等の脚本も手掛ける異才・七里 圭。主演は『ココロとカラダ』（安藤 尋監督）の阿久根裕子。彼女をモチーフに、人形作家・清水真理が創作した球体関節人形も登場する。また、森の中の一軒家に長期滞在して作り上げた、奇想のセット美術や、端正な光の撮影は必見だ。

なお本作は、＜身体＞をテーマに意欲的なアート映画を製作し続ける愛知芸術文化センターの委嘱作品である。今年五月には、ドイツで開催されたヨーロッパ・メディアアート・フェスティバルにて招待上映された。

感情のサウンドスケープ。生演奏での上映！

一切の台詞を排したこの映画の音楽を担当するのは、七里監督とは長年コンビを組む、侘美秀俊。前作『眠り姫』（原作／山本直樹）では、室内楽団を率いてのライブ上映で大成功を取めたが、本作では指向を変える。

ハープ、クラリネット、オルガン、パーカッションなど、異色の編成の演奏家たちを迎えて、リリカルに揺らぎ、さざめく音響を披露する。



2006年11月16日(木)
17日(金)

秋葉原
UDX 先端ナレッジフィールド
アキバ3Dシアター (03-5297-8227)

ホッテントットエプロンスケッチ
hottentotapron-sketch

2006年/上演時間 70分
<http://www.hottentotapron.com/>

19時30分開場 20時開演
(ロビー開場、チケット受付：18時30分)

当日、ロビーにて、宮沢豪写真展、3D映像の上映も併催。

前売 二二〇〇円、当日 二五〇〇円
全席自由席

チケット取り扱い窓口

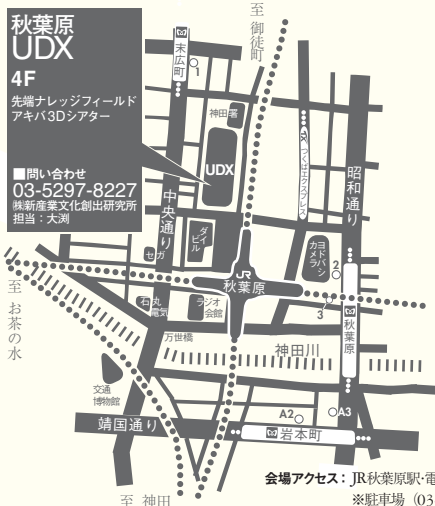
ユーロスペース 03-3461-0211
シネマアトーン下北沢 03-5452-1400
UPLINK FACTORY 03-6825-5502
シネマアンジェリカ 03-5459-0581
原美術館
サ・ミュージアム ショップ 03-3445-2069

出演 阿久根裕子 ただてっぺい 大川高広 井川耕一郎

監督・撮影○七里 圭 原案○新橋未成
撮影○高橋哲也 スチール○宮沢 豪 助監督○三梨朋子+居島知美 制作○藤田功一+平林 勉+加地耕三+前田陸宏
人形○清水真理 衣装デザイン○生頼愛子 スタイルリング○多田哲平+中村美奈子 メイク○鈴木啓士朗 音楽○侘美秀俊
効果○岡瀬晶彦 宣伝デザイン○佐原宏臣 HP制作○石原寛郎

協力 松下電器産業(株) パナソニックDVワークショップスタジオDU (株)アプレ

演奏○Harp 堀米 綾+Clarinet 多田哲平+Percussion 宿谷一郎+Trumpet 新井政輝+Computer 池田拓実+Organ 侘美秀俊



会場アクセス：JR秋葉原駅・電気街口改札を出て右手、徒歩すぐ。東京メトロ日比谷線秋葉原駅から徒歩3分。東京メトロ銀座線末広町駅から徒歩5分。
※駐車場 (03-5289-0989) は、秋葉原UDXのB1、B2、B3になります。



企画 愛知芸術文化センター
HOTTENTOTAPRON Project, Inc.
制作 愛知芸術文化情報センター
主催 HOTTENTOTAPRON Project, Inc.
ICIC (株)新産業文化創出研究所
早稲田大学 大学院国際情報通信研究科 河合隆史研究室